



あおば病院看護師  
田寄 和代さん

あおば病院の内科療養病棟に勤務し、看護師歴は約30年。2007年にJRFA認定セラピスト(日本リラクゼーションフットケア協会)、2013年にはアロマ・アドバイザー(ナード・アロマセラピー協会)の資格を取得。



医療法人社団 明心会 あおば病院

理念は「ひと」「心」「和」。病院機能評価認定病院。理事長/三浦明、診療科目/精神科・心療内科・内科・もの忘れ・うつ・ストレス・不眠相談

宇城市松橋町萩尾2037-1



(左上) ピアノの生演奏が行われることもあるという、清潔感のあるロビー。(左下)「田寄さんのアロマの知識のお陰で、私たちも癒されています」と、一緒に働く笑顔のスタッフたち。(右)「いつでも患者さんを癒せるように」と、田寄さんがケースに入れて常に持ち運んでいるアロマオイル

ア・ロ・マのチ・カ・ラ  
enjoy aroma life  
香りでお手伝い  
アロマライフ  
VOL.1

アロマで癒し癒される。  
でも実は、自分が  
一番癒されています(笑)

「腰を痛めた主人の足を、アロマオイルを使ってトリートメント(マッサージ)したのが最初でした」。勤務する病院で随一のアロマセラピーターの知識を誇る田寄さんですが、その出会いは家族のケアの場でした。「香りに私自身も癒されたのがきっかけで、病院内で月1回のアロマ講習を受けることに。そこから本格的に勉強を始めました」。その後、フットマッサージによるストレス緩和とリラクゼーション効果「アロマオイルの芳香浴下での試み」を研究

し、昨年の精神科学術集会全国大会で発表。知識を活かし、現場にもアロマの活用を提案しています。「アロマの力と共に、患者さんに寄り添うのがモットー。病室の他ナーステーションにもオイルを焚いたり、時間が或る時には患者さんにトリートメントをしたりしています。いい香りがする空間で触れ合いながら患者さんの話を聞くと、落ち着いて眠られることも(笑)。それを見た私の方も癒されます」と田寄さん。「さらに当病院では、神聖な看取り

の場にもアロマを取り入れています」。人生の最後を迎える患者と家族が、その大切な時間を安らぎの香りに包まれて穏やかに過ごすという取り組みは、まさに人生に寄り添うアロマ。アロマの偉大な力を、最も感じる瞬間です。オスズメの香りは「スイートオレンジ」。「どんな人にも好まれる、オールマイティな香り。いつでもいい気分になりますよ」。そう人懐こくほほ笑む田寄さんは、今日も患者さんと一緒に、アロマの力で癒し癒されています。

